

第1回まちづくり推進町民会議を開催

まちづくりに意見要望

令和5年度第1回まちづくり推進町民会議(齊藤宏行議長)が7月10日(月)午前10時30分から美深町役場大会議室において開催され、委員20名と町理事者、各課長等あわせて36名が出席しました。同会議は、町内各団体や自治会からの推薦委員、公募委員の30名で構成し、町政への意見要望の聴取や広報モニターなどの役割を担っています。

今回の会議では、第6次総合計画令和5年度実施計画、行政改革令和4年度実績についての説明の後、町政に関する懇談を行いました。

会議の内容

◎第6次総合計画(令和5年度実施計画)

◎美深町行政改革(令和4年度実績、令和5年度推進項目)

◎まちづくりの推進についての懇談

◎第6次総合計画(令和5年度実施計画)

R5実施計画について概要を説明。

◎美深町行政改革(令和4年度実績・令和5年度推進項目)

美深町行政改革に基づく令和4年度 of 取組実績及び令和5年度の推進項目について概要を説明。

補正予算概要書について概要を説明。

◎その他

初野駅、恩根内駅の経過について説明。



◎まちづくりの推進についての懇談

主な懇談内容(詳細は次ページ)

- ・特別養護老人ホーム
- ・恩根内消防署
- ・スキー場
- ・チョウザメ事業
- ・救急搬送について

③まちづくりの推進についての懇談

<主な懇談内容>

● 特別養護老人ホーム

委員～特養が2026年に改修予定となっているが、現在の場所では浸水の恐れがあり危険。移転するのにかなりの額が必要になると思うが国からの補助はあるのか。

保健福祉課長

～移転は浸水の恐れのない天木跡地を予定。総合計画では10億円を見込んでいるが、床数で10億以上になる可能性もある。道補助は1億6千万円程度で残りは町補助を見込んでいる。

委員～天木跡地には天木を取り壊した際の廃材が埋まっているのでは。

保健福祉課長

～町道工事の際は廃材が埋まっていた。掘ってみないとわからないが、埋まっていた場合には撤去費用も必要になる。

町長～現場からは特に話はないが、必要であれば相談しながら進める。

● 恩根内消防署

委員～恩根内の消防栓の除雪を第3分団（恩根内）に任せる話があるが負担が大きい。

消防署長

～恩根内の署員が退職し、常駐署員がいなくなっている。第3分団には報酬の支払いも含め協議している。美深署で除雪はしていくが、大雪時など協力をお願いしたい。

委員～退職した署員の人件費で委託など考えていないか。

消防署長

～郊外の消防栓21基は作業委託しているので、恩根内も検討する。

● スキー場、チョウザメ、緊急搬送 など

委員～スキー場の照明がLEDに変わり明るくなったが濃淡が激しく怪我が心配なため工夫できないか。

キャビアの生産でソフトバンク、北大との連携がされているが今後の展望は。

近所で除雪している人が倒れて救急車を呼んだが時間がかかったため、緊急時の救急知識を身に付けたいが、講習会は人数が揃わないとダメか。

ゼロカーボン宣言し、環境対策を進めているが、木質バイオマスの現状と展望は。

教育委員会次長

～スキー場の照明は色々工夫してみたが上手くいかなかった。冬まで検討する。

総務課上席主幹

～ソフトバンクのAI技術と北大の技術を持って、長時間かかる研究を短時間でバーチャルし、美深の施設で飼育を実践していく。

消防署長

～救急はスムーズに出勤しているが、面積が広いこともあり時間がかかってしまう。講習は資格を得られるものと、AEDなどの使い方を学ぶものがあり、使い方を学ぶものであれば1人でも受けられる。

住民生活課長

～木質バイオマスは現在びふか温泉のみ。CO2を抑制出来るが、現在新たな導入は予定していない。

● 救急搬送

委員～救急車は必ず厚生病院に行かなければならないのか。

消防署長

～直近の医療機関や患者が希望する病院に搬送することになっているが1か所に集中してしまうと病院側の受入も限界があるので理解願いたい。脳卒中の疑いがある場合などは搬送先を変える対応もしている。

● スキー場の景観整備

委員～スキー場の景観整備はもうしないのか。グラススキーができるようにしては。

教育委員会次長

～景観整備は現在維持管理の方針となった。グラススキーについては検討していく。

● 美深高校のトイレ

委員～美深高校のトイレが暗くて寒い。教育長～道の管理のため状況を伝える。

● 農家の従業員支援

委員～畜産への従業員支援が補正予算にあるが畑作にはないのか。

農務課長～耕種は人材派遣への支援、酪農ヘルパー支援している。畜産は酪農ヘルパーのような体制が出来なかったため従業員確保の支援を行っている。

